

科学技術社会論学会第1回年次研究大会・総会のお知らせ

科学技術社会論学会第1回年次研究大会のご案内

第1回年次研究大会を以下の要領で開催いたします。2001年10月に学会が発足して以来約7ヶ月で、現在会員数は約360人にのぼっております。第1回ということで、実行委員会においてもさまざまな試みを取り入れてみました。特別講演「科学技術社会論への期待」、シンポジウム、ワークショップなどを現在企画中です。また一般演題の広がりを考えて、conference-streamという枠を設けております。現代社会が科学技術社会論につきつけている課題や問題に対し、研究者から、科学・技術研究の現場から、そして公共の問題解決の現場から、そして次代を担う大学院生から、多くの質の高い研究が集まることを期待しております。皆様からのたくさんのお申し込みをお待ちしております。

2002年5月

第1回大会実行委員長 藤垣裕子

同副委員長 廣野喜幸

[1] 会期・会場

会期：2002年11月16日(土)～17日(日)

会場：東京大学 駒場キャンパス(東京都目黒区駒場3-8-1) 11号館

(京王井の頭線・駒場東大前駅下車 徒歩3分)

[2] 主要プログラム(予定)

(1)特別講演 (2)シンポジウム (3)一般講演 (4)ワークショップ
(5)総会 (6)懇親会 (7)その他

[3] 一般講演(研究発表)の要領

一般講演申込希望者は、同封の一般講演申込書ならびに大会参加申込書に記入し、郵送で年会事務局に申し込みください。締切は6月28日(必着)といたします。事務処理の都合上、郵送以外の申込は認められませんのでご注意ください。なお、申込書は科学技術社会論学会のホームページ(<http://www.cs.kyoto-wu.ac.jp/jssts/index.html>)からもダウンロードできます。一般講演につきましては、申込書に基づいて発表の可否について審査を行う場合がございますので、あらかじめご了承ください。なお審査結果につきましては9月上旬までにご連絡いたします。

一般講演はすべて口頭発表とし、類似の講演をまとめたセッション形式で行います。1セッションは60～90分程度で、1セッションあたり3～5件の一般講演が行われる予定です。より正確な持ち時間につきましては、プログラム編成（9月中旬公表予定）後に決定いたします。なお、講演で使用可能な機器はOHPに限らせていただきます。予稿集への講演予稿掲載、口頭発表の2つを行うことで発表が公式に認められます。予稿集に掲載される論文は、1発表あたりA4で2頁または4頁のいずれかが選択できますが、これを超えることはいかなる理由があっても認められません。なお、原稿提出の締切は10月20日を予定しておりますが、若干の前後はあり得ますので執筆要領にはご注意ください。

予稿集掲載論文の執筆要領は現在作成中です。作成出来次第、審査通過者のお手元に発送いたします（Webからのダウンロードもできるようにする予定です）。

一般講演申込書記入上の注意	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 発表題目 ・ 講演者 ・ 連絡者 ・ 講演要旨 ・ 講演キーワード ・ Conference-stream 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 講演内容を明示的かつ簡潔に表すものをお願いします。 ・ 連名者を含む全ての講演者について、氏名と所属を記入してください。また、当日発表を行う登壇者の氏名の前には 印をつけてください。なお、連名者が多く所定の欄に書ききれない場合には同様の形式で別紙を作成の上ご記入ください。 ・ 事務局から、一般講演に関する連絡を行う際には、この連絡者のみに通知しますので、講演者の中で連絡者を決めてください。 ・ 主としてセッション編成の際に利用いたします。また、会場の都合等により審査を行う場合に利用することがあります。 ・ 適当なキーワードを3つまでお付けください。 ・ セッション編成の際に利用します。講演の内容が該当する分野を一つで囲んでください。適当なものがない場合には、「その他」の項目で囲んだ上で、カッコ内に分野名をご記入ください。なお、希望された該当分野のセッションに講演が割り当てられないことがあり得ますので、予めご了承ください。

[4] 一般講演発表資格

2002年6月末日現在で、「科学技術社会論学会」の会員（購読会員を除く）であること。あるいは6月末日までに入会申込の書類を提出していること。

2002年度の学会費を納入済みであること（未納の場合は大会当日に請求いたします）
発表申込書（及び大会参加申込書）と予稿集論文をそれぞれの締め切り日までに送付済みであること

大会参加費を当日までに納入済みであること

一般講演における登壇者・連絡担当者・筆頭講演者の方は学会員である必要があります。
それ以外の連名講演者は非会員でも結構です。

現在、会員でない方が登壇者・連絡担当者・筆頭講演者として研究発表を希望される場合は、学会事務局 (tel/fax: 03-5734-3270; e-mail: sts-secretariat@esp.titech.ac.jp) まで入会申込書類を請求されるか、あるいは学会ホームページ (<http://www.cs.kyoto-wu.ac.jp/jssts/index.html>) より必要書類をダウンロードして入会手続きを行ってください。

[5] 総会・懇親会

総会を第一日の昼に、懇親会 (参加費 5,000 円 (学生会員は 3,000 円)) を同日の夕刻に行う予定です。

[6] 大会参加・予稿集購入・懇親会の申込

(1) 大会参加の申込

一般講演希望の有無を問わず、大会参加をご希望の方は、同封の大会参加申込書に必要事項を記入の上、2002 年 9 月末日までにご投函ください (当日申込も受け付けます)。

大会参加費は、前納の場合、正会員 5,000 円 (学生会員 3,000 円)、当日支払いの場合、正会員 6,000 円 (学生会員 4,000 円) です。前納される場合は、同封の郵便振替用紙を利用して 9 月末日までに振り込み手続きを済ませてください。前納されない場合には、事務手続きの都合もありますので、当日会場でお支払いください。

また、非会員の大会参加費は前納・当日納入を問わず 10,000 円です。

(2) 予稿集購入の申込

大会参加費には予稿集 1 冊の代金が含まれます。追加購入を希望される場合、あるいは大会には不参加で予稿集のみ購入を希望される場合には、年会事務局までご連絡ください。予稿集は一冊 3,000 円の予定です。

(3) 懇親会の申込

懇親会は、第一日目の夕刻、会場近辺で開催する予定です。

参加を希望される方は、会場の都合もありますので、できるだけ大会参加申込書の当該欄に印をつけて、その旨をお知らせください (当日に参加を希望されてもご希望に添えない場合がありますことを予めご了承ください)。

なお、参加費 (正会員 5,000 円、学生会員 3,000 円) は当日受付で徴収いたします。

[7] 大会関係諸費用

出来る限り前納をご利用ください。

	前納(9月末日まで)	当日納入
大会参加費(含予稿集1部)		
正会員(機関正会員を含む)	5,000円	6,000円
学生会員	3,000円	4,000円
非会員	10,000円	
予稿集(追加)購入料金(1部につき)	3,000円	
懇親会参加費		
正会員(機関正会員を含む)	5,000円	
学生会員	3,000円	

諸費用の振込先

郵便振替

口座番号： 00120-1-12810

加入者名： 科学技術社会論学会第1回年次研究大会事務局

[8] 今後のスケジュール

- | | |
|-------------------|-------------|
| 1. 一般講演申込締切 | 6月28日(当日必着) |
| 2. 一般講演審査結果通知 | 9月上旬 |
| 3. 一般講演予稿執筆要項公開 | 9月上旬 |
| 4. プログラム公表 | 9月中旬 |
| 5. 大会参加費・懇親会費前納期限 | 9月30日 |
| 6. 予稿集論文提出締切 | 10月20日(予定) |

[9] 参加申込書等の送付先とその他お問合せ先

〒152-8550 東京都目黒区大岡山 2-12-1

東京工業大学大学院理工学研究科 調研究室

科学技術社会論学会第1回年次研究大会事務局

Tel/Fax 03-5734-3270 E-mail: sts-nenkai@esp.titech.ac.jp

科学技術社会論学会第1回年次研究大会実行委員会委員

藤垣裕子(委員長), 廣野喜幸(副委員長), 村田純一, 橋本毅彦, 岡本拓司, 鬼頭秀一, 丹羽清, 嶋田正和, 木原英逸, 堂前雅史, 綾部広則, 調麻佐志, 平川秀幸, 中島秀人(事務局長), 小林傳司(会長)